

はじめに

準備する道具

- キリなどの穴を空ける道具
- ペン
- ドライバー（必要に応じて）

取付方法 （※本商品は、ビス位置と商品の間に隙間ができるため、正面付けを推奨しております。）

以下より取付方法をご選択ください。

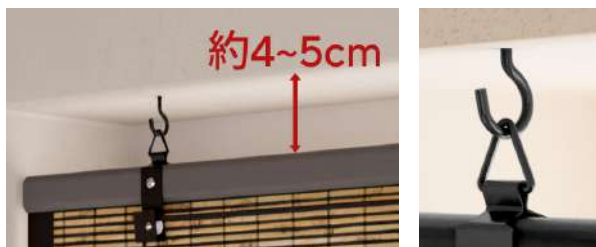
天井付け

窓枠内に取り付ける方法

窓枠の天井にフックを取り付けます。
窓枠の内側にスクリーンが収まるため、窓際の家具と干渉する心配がなく、部屋がすっきり見えます。



下図のように、天井と商品の間に約4~5cmの隙間ができます。この隙間から光や視線が抜けやすいためご了承ください。



正面付け

窓枠外に取り付ける方法

窓上の壁または窓枠にフックを取り付けます。
窓枠を覆うように取り付けるため、上部や両端からの光もれを抑えられ、窓が大きく見える効果もあります。



下図のように、ビス位置から3.5cm下に商品が付くため、その点を考慮し取り付け位置を決めます。



取付方法 > 天井付け

01 スクリーンを取り付ける位置を決める

天井付けの場合は、窓枠の天井にフックを固定します。

ハンガーの位置にフックを取り付けます。
窓枠の天井にハンガーを合わせ、ペン等で印を付けます。

※ハンガーとフックの個数は、スクリーン本体のサイズにより変動します。



02 取付金具（フック）を固定する

フックを回し入れやすくするため、それぞれの印に沿ってキリで穴を開けます。

フックを手で回しながら固定します。



03 スクリーン本体を取り付ける

スクリーン本体のハンガーをフックに引っかけます。

※スクリーンを巻いた状態にするとフックにかけやすくなります。



取付方法 > 正面付け

01 スクリーンを取り付ける位置を決める

正面付けの場合は、ビス位置から3.5cm下に商品が付くため、その点を考慮し取り付け位置を決めます。

ハンガーの位置にフックを取り付けます。
お好みの高さにハンガーを合わせ、壁や窓枠にペン等で印を付けます。

※ハンガーとフックの個数は、スクリーン本体のサイズにより変動します。



02 取付金具（フック）を固定する

フックを回し入れやすくするため、それぞれの印に沿ってキリで穴を開けます。

フックを手で回しながら固定します。



03 スクリーン本体を取り付ける

スクリーン本体のハンガーをフックに引っかけます。

※スクリーンを巻いた状態にすると、フックにかけやすくなります。

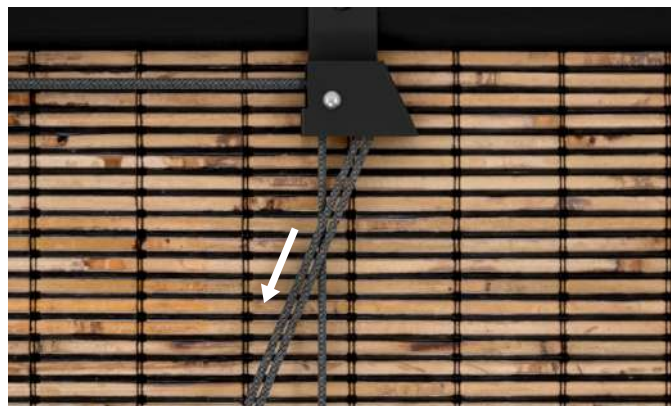


操作方法

01 スクリーンを下げる

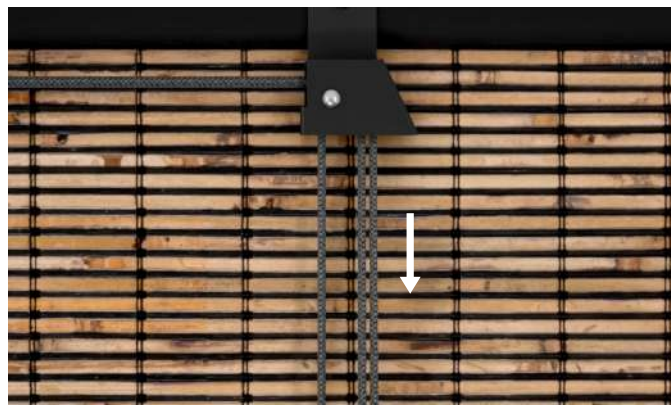
コードをスクリーンの内側に向かって引くとロックが解除され、スクリーンが下がります。

※図は、コード位置を右側に設定した場合の例です。



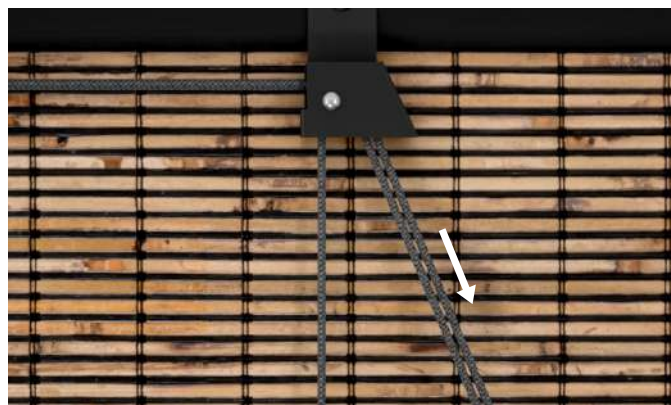
02 スクリーンを上げる

コードをまっすぐ下に引くとスクリーンが上がります。



03 コードをロックする

お好みの高さになったら、コードをスクリーンの外側に向かって引くとロックがかかります。

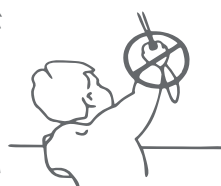


安心してブラインド等をご使用いただくために

操作コードは小さなお子様やペットに絡まったり、自分で巻きつけたりする危険性があります。コードがたるまない位置で、付属のコードクリップを壁または窓枠に固定してお使いください。ブラインドの上端は、床から少なくとも150cmの高さに取り付けてください。コードクリップは、手の届く範囲でできるだけブラインドの上部に近い位置の壁に取り付けてください。



お子様がよじ登って操作チェーンに手が届いてしまわないように、窓の近くにベビーベッドや家具などを設置しないで下さい。事故につながる恐れがあります。操作チェーンについて十分ご理解いただいたうえでご使用をお願いいたします。



コードクリップの取付方法

01

ご希望の位置にペン等で印を付けます。



02

印に沿って穴を空け、ビスで固定します。

